

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

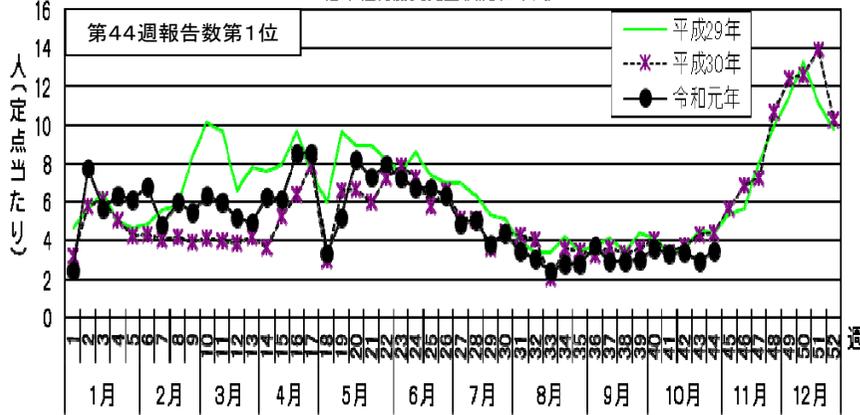
令和元年10月28日（月）～令和元年11月3日（日）〔令和元年第44週〕の感染症発生状況

第44週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 3) 手足口病でした。
 感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は3.49人と前週（2.92人）から横ばいで、例年より低いレベルで推移しています。
 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は2.76人と前週（2.54人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。
 手足口病の定点当たり患者報告数は1.95人と前週（2.19人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。

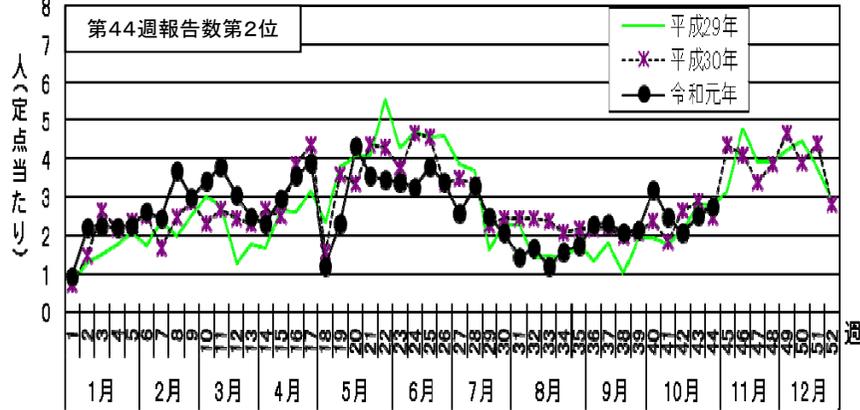
★インフルエンザウイルス★
インフルーくん



感染性胃腸炎発生状況(3年間)



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎発生状況(3年間)



インフルエンザが流行期に入りました！

季節性インフルエンザの流行は、例年11月～12月頃に始まりますが、今年は、全国と同様に首都圏においても比較的早い時期からインフルエンザの報告数が増加しています。

川崎市では、令和元年第44週（10月28日～11月3日）の定点当たり患者報告数が1.48人となり、流行開始の目安である定点当たり1.00人を超え、過去5年平均と比べて3週間早く流行期に入りました。多摩区及び麻生区の小学校ではインフルエンザによる学級閉鎖もみられています。

感染を予防するために、手洗いや咳エチケットなどを心掛けるとともに、インフルエンザワクチンの接種も御検討ください。

インフルエンザとは？

【感染経路】

飛沫感染、接触感染

【潜伏期間】

1～3日間

【主な症状】

発熱（通常38℃以上）、頭痛、咳、鼻汁、全身倦怠感、筋肉痛・関節痛など

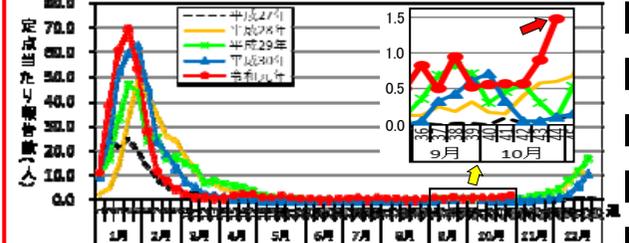
【予防方法】

- ・ワクチン接種
- ・咳エチケット※
- ・手洗いの徹底
- ・適度な湿度の保持
- ・十分な休養とバランスのとれた食事
- ・人混みや繁華街への外出を控える

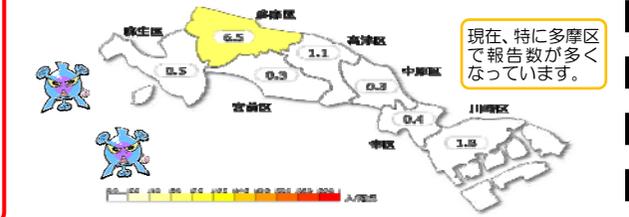
※感染を拡げないために、咳・くしゃみの際にマスク、ティッシュ・ハンカチ、袖を使って口や鼻をおさえることです。



川崎市におけるインフルエンザ発生状況(5年間)



川崎市におけるインフルエンザ分布マップ(第44週)



川崎市感染症情報発信システム (KIDSS)